

図書だより 2

新入生及び在校生の皆さんへ

☆飾磨工業校における読書感想文の意義と活用方法について



- 1 最初に 本校では、夏休みに読書感想文が課題として生徒の皆さんにプレゼントされます。
但し、小学校時代より中学校でもあった①青少年読書感想文全国コンクールに応募する場合と感想文の内容により、②全国高校生読書体験記コンクールに出す場合や③全国学芸サイエンスコンクールの文芸Ⅱ読書感想文部門に出す場合があります。
提出先は本人に確認します。また、事前に提出先を希望すれば、それを考慮のうえ推薦枠内で選考します。
- 2 読書の利点
人間的な成長の好機（チャンス）にすることができる。情報収集ができる。視野が広がる。経験が増える。思考を深化できる。抽象思考への上昇ステップを踏める。追体験ができる。異文化に触れることができる。過去から現在をそして未来を推測することができる場合がある。過去の間違いを検証できます。
多様な人々の人生を体験することができる。ある人の人生を追うことで、時代の中に国語、社会（政治、経済、日本史、世界史、倫理）、数学、理科、英語、体育、家庭、情報、工業、商業、農業、漁業、などが有機的に関係していることを学ぶことができます。
- 3 読書の欠点
作家の執筆当時の思考による作品なので、最新・最善の本人の考えではない場合がある。真実や理想があるが、虚構やデマもある。プロパガンダや洗脳の手法を屈指してある場合もある。読み手が心していれば、大丈夫です。不安なら事前に相談しに来てください。
- 4 学校内で利用面
学年進行に合わせ、自分の思考を整理見直しする事で成長を確認しながら読書を楽しむ事ができる。定期考査と違い、成績がつくわけではないので、親兄弟、級友、知人等に聞いたり談笑する事で読みを深め自分を高める事ができます。
- 5 本選びの前に
 - ① どのコンクールに出す感想文かを決める。⇒各コンクールの特色や今回のテーマを調査する。
字数は、「原稿用紙 4 枚で 1600 字、5 枚で 2000 字、6 枚で 2400 字程度」であります。
 - ② 読む本を決める⇒1.家にある本。2.学校図書館にある本。3.市の図書館にある本。4.公民館にある本。5.子供の館にある本。6.星の子館にある本。7.友人から借りる。8.過去の課題図書の中から良さそうなものを選ぶ(自由選択の場合)。9.他のコンクールの課題図書の中から良さそうなものを選ぶ。10.家族・友達・サイトからおすすめ本を教えてもらう。11.興味のある分野の本を探す。12.本屋さんで探す。13.他校放送部の生徒で知り合いがいれば、県の放送コンクールの課題図書を持っていることが多いので聞いてみる価値があります。14.自分が関係しているクラスや部活や学科の先生に伺って情報を得るのもあります。15.近くの貸本屋さんや古本屋さんで探す。16.読書に関するコンクールの受賞作品の書名と感想文を参考にして探す。
- 6 課題図書の場合や自由選択の場合
「課題図書あり」の場合
 - ・とりあえず1冊決めてしまい、即入手し、一度流し読みする。(家があれば、ラッキーです。)
 - ・課題図書の中から興味が湧いた本や気になる本、自分の将来に一番関係する可能性があると思われる一冊を選びましょう。「課題テーマあり」の場合
 - ・本屋さんや図書館等で、関係するジャンルやテーマの分野の本が並んでいる本棚を探す。
 - ・図書館や施設の司書さんに、おすすめの図書を聞いてみる。

「自由に選択していい」場合

- ・家族や友達にお勧めの本とその理由や概要を聞く。
- ・自分が過去に読んだ本とその感想文があれば、それをもう一度読み直してレベルの高いものに挑戦するのもあります。
- ・自分が現在興味がある分野、生徒会活動、部活動、学校生活関係、好きな作家、好きな時代、読んだり調べたりする時間をかけても惜しくない分野の中で探す。
- ・本の中には、題名があって、中身は数編がまとめてある場合があります。文庫などの解説書を見ながら気に留まるものを探してみましょう。各社の解説目録は、本校図書室にもあります。
- ・短編集は、明らかに中の構成が短編の集まりなので、読む量は少なくて済みますが、感想文を書くときに内容を折込み5枚ほどにするのに工夫がいります。
ヘッセ、村上春樹、星新一などのような・・・。

7. 読書環境づくり

- ・読者感想文の時期でないときの、ぼっかり空いた一日を読書の時間に使いましょう。
- ・付箋（ふせん）を用意する。
⇒色別にする、賛成、反対、感動、好き、嫌い、心、行動、原因、結果等の情報を残せる。
※借りた本の場合、書き込みは厳禁ですから、付箋は、必須のアイテムです。
- ・メモ（ノートやルーズリーフでもOK）
⇒具体的に思った事をその時に書いておく（反論、参考文献、別な意見、その時の気持ち等何でも）
※メモを後で、並べる順番を変えたりして、感想文の流れや構成を決めることもできます。
- ・関係資料
⇒作者の写真や系譜、地図や年表、作者と近い人々の情報などがあるとイメージが膨らみます。
- ・本の設定環境が近場であれば、直接夏休み中にそこへ出かけてみるのも素晴らしい体験になります。
⇒黒田官兵衛、宮本武蔵、三木清、柳田国男、千姫、赤松円心、・・・
- ・同じ題材を映画にしたものがあれば、それを鑑賞するのも作品は違いますが参考になります。
レンタルで借りて鑑賞して、流れを掴むのも一案です。
- ・ノートパソコンかタブレットに、気が付いたことやその時の気持ちや重要事項を打ち込んでおく
後で大変助かります。

8. 電子媒体を使う

- ・パソコンを利用すると、入力の際に候補の漢字が多数出てきて、間違いのチェックができます。
- ・原稿用紙タイプ等の表示を使えば、改行や字数の確認が事前に出来て本当に便利です。
- ・提出用の原稿用紙に、直接的に、パソコンを見ながらとても綺麗に記入することができます。
- ・オーディオブック（CD：本校図書館にもあるものがあります。）を利用して聴く方法もあります。
- ・Kindle などを使えば、古典関係なら無料で読める本も多数あります。

9. 余談

- ・仕事を使命感でやれば楽しい(幸せ)ですが、やらされ感でやれば苦痛(不幸)でしかありません。
- ・読書感想文も、どう利用しようかと自分で目的を持ち活用すれば、成功への第一歩になります。

☆今年の図書部の職員

全日制 ◎石田先生、重松先生、田中_千先生、寺尾先生の4名

多部制1・2部◎福田先生、西松先生の2名

3部◎兼松先生、濱本先生の2名

以上8名の職員と今後決まる各クラスの図書委員さんに協力してもらって図書館を有効活用し実りある高校生活を築いていきましょう。

